



# 心理食堂



## 開店のご挨拶

このたび心理食堂をはじめました。  
子どもの発達支援で心理士が提供できるものをおしながきにしております。  
ぜひ、以下に紹介する心理士に直接、ご注文ください。

## 心理士一同

### 藤原朝洋

(中京みぎわ園所属・巡回担当)



### 吉田かける

(みぎわ保育園所属・巡回担当)



### 高田莉恵

(中京みぎわ園・朱雀みぎわ学童保育所所属)



### 松田采実

(みぎわ保育園・みぎわ児童館所属)



# 1.アセスメント

「発達が気になる」、「問題行動が多く見られる」という子どもの観察に入り、今の発達水準と課題を明らかにしたうえで、必要な支援を提案します。迷ったときは、是非ご相談ください。



・ 行動観察  
集団行動から外れる子どもを対象とする場合はどういったタイミングで外れるのか、多動や注意の問題はあるか、発達の水準はどうか等を意識して観察します。



・ 参与観察  
子どもと直接かわりながらの観察となります。保育に入り、「この子はここが苦手なのではないか」、「この支援なら有効か」と仮説を立て、有効な支援を提案します。



・ クラス活動の観察  
クラスに入り、支援が必要な子どもだけでなく、他の子どもたちの様子を観察します。個別のアセスメントより多少、精度は低くなりますが一度に複数の子どもを観察することが可能です。子どもの困りごとの発見や対応方法の提案します。

## 2.コンサルテーション



子どもの様子について、アセスメント時以外にも、困ったことや気になった行動について、お伺いします。お聞きした内容をもとにその場で支援方法の提案を行ったり、後日、詳しいアセスメントを行います。また、以前にアセスメントした子どものその後の様子をお伺いすることがあります。

## 3.保護者面談



保護者が子どもの発達などを気にしておられる場合、保育士とともに面談時に同席し、心理の専門性に基づき、発達相談をお受けします。保護者ご自身が抱えている困り事の相談にも対応します。

## 4.個別支援計画作成サポート

**個別の支援計画作成をお手伝いします！**

臨床心理士の藤原です。  
5月～6月は、在園児・新入園児の**個別の支援計画**を作成する期間です。  
多数の園児の保育をしながら対象児の特性を把握する作業はなかなか大変かとも思いますが、  
そんな時に、**心理士のサポート**を活用してみませんか？

従来の観察+所見作成する流れに加えて、**個別の支援計画のフォーマットを埋める形で「各項目にこういうことを書いてもらいたいですよ」というような提案**をします。書き方やその他のご相談にも応じます。

また、個別の支援計画の作成の対象でない園児さんでも、何か気になる点があればご相談ください。これくらいはサポート受けなくても・・・といった思いを持つかもしれませんが、できるだけ多くの「気になる園児」を把握して、関係者で共有していく方向性は保育の質を上げることに必ずつながります。

先生方の「気づき」を心理士とも共有していただければありがたいです。

◆申し込み方法  
藤原 朝洋 [tomohhuo@gmail.com](mailto:tomohhuo@gmail.com) までメールで連絡ください。

- 園長へのメールのCCが指示されている場合はそうに対応してください。
- CCの仕方が分からない場合はその旨メールにお書きください。藤原が対応します。
- 対応は心理士の藤原朝洋か吉田かけるが対応します。

◆申し込みのメール(例)  
タイトル:個別の支援計画作成サポート希望  
本文: ○○園○○組の○○○(自身の名前)です。個別の支援計画作成サポートを希望します。対象児はT-F君(イニシャル)です。○○の活動の時に落ち着かない様子が目立ち、声掛けも入りづらいうことが多いです(様子については書いていただければ幸いです。無くてもOK)。

- 申し込みがありましたら、順次スケジュールを調整して対応していきます。
- 次年度の作成が予定されている場合は3月中でも申し込み可能です。



要支援児の支援計画を作成する際、アセスメント結果を踏まえて、心理の専門性を活かしたアドバイスをします。一般的に支援計画を立てはじめる5月末～6月頃がおすす

## 5.支援会議



保育士と心理士、作業療法士、栄養士、看護師などの多職種が集まって情報を共有し、子どもの支援方針をともに考える場です。一回り時間程度、園児1～2名を取り上げます。

## 6. 発達検査

子どもの発達水準を詳しく調べたいときに有効です  
(社会性・コミュニケーション、言語発達、運動発達、  
認知・適応力など)。

※検査内容によっては、準備期間を頂いたり、**保護者**  
からの依頼もしくは同意が必須の**ものがあります。**

### 遠城寺式乳幼 児分析的発達 検査法

子どもの運動、社会性、言語のそれぞれ  
の領域の発達を評価し、  
グラフに示します。検査  
時間が短く、子どもの  
発達の特徴を把握し  
やすい検査です。その  
結果「なんとなく運動  
がゆつくり」といった  
曖昧な表現ではなく、  
「運動は1歳6か月水  
準で半年程度の遅れ」と  
より正確な把握が  
できるように  
なります。  
(所要時間約10分)

### M I C H A T

M I C H A TはASD  
(自閉スペクトラム症)  
の可能性を調べる  
ものです。ASD児には見  
られるもしくは見られ  
ない行動、運動、言語  
をチェックします。保  
育士と心理士が協力し  
2歳の誕生日にチェッ  
クすることで、支援の  
必要な園児の早期発  
見と支援に役立ちま  
す。  
(所要時間約10分)



### 新版K式発達検査

京都の児童福祉セ  
ンターで使われてい  
る検査手法です。姿  
勢・運動、認知・適  
応、言語・社会の3  
領域の評価により、  
子どもの発達指数と  
発達年齢を数値で表  
すことができます。  
(所要時間約40分  
〜1時間)

※児童福祉センター  
で療育手帳の発行  
を希望する場合、  
みぎわでこの検査は  
実施できません。  
また、保護者の同意  
がかならず必要です。  
事前にご相談ください。

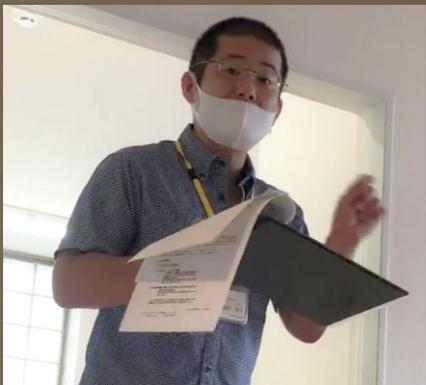
## 7.心理教育



応用行動分析学に基づき、望ましい行動を増やす工夫をすることで子どもの問題行動を相対的に減らしていく支援方法です。個人ではなく、クラスの子ども全体を対象にするのが特徴です。たとえば「朝の会でちゃんと座って話を聞くこと」を促す場合などに使えます。(他にも性に関する基礎知識やコラーージュなども行っています)

・ クラスワイド  
ポジティブ行動支援

## 8.園内研修



子どもの心理・発達、障害児(者)支援(合理的配慮・環境調整など)に関する講義形式の研修を行います。ご希望の研修テーマがあれば、ご相談ください。

・ 講義研修



体験参加型の研修です。非日常の環境でグループワークを行い、自己/他者理解を通して、チームワーク向上を図ります。1日研修と半日研修の2種類があります。

・ エンカウンター  
グループ研修

## 9.外部機関連携

・  
打合せ同席

外部機関との打合せに同席し、子どもの発達に関する情報を心理士の見地から提供します。  
加えて、打ち合わせ終了後、今後の支援方針・支援方法のご相談もお受けします。



・  
個別支援計画・  
発達検査結果の  
解説

外部機関から提供された個別支援計画や発達検査結果について、園での支援に活用するため、わかりやすく解説します。その際、今後のみぎわの支援方法も一緒に検討することができします。

・  
情報提供書  
作成サポ-ト

園児の情報提供書(要録も含む)について、心理士の専門性を活かして作成をお手伝いします。  
※**情報提供は原則、保護者の同意が必要**です。